

# まあい

表題/松原 輝和



Junior Chamber International Japan KURIYAMA

2015年 1月1日(木)

【発行所】

一般社団法人 栗山青年会議所

夕張郡栗山町中央2丁目1 商工会議所内 事務局

☎0123-73-2345

http://www.kuriyama-jc.jp

# 夢

あります。

◎人口減少の歯止めと 交流人口増に向けて

松原・栗山町の昨年度観光入込客数は約36万人、長沼町は約8.5万人。一過性のお祭りやイベント、仕事以外で、定期来訪者を増やす必要があると考えます。私達に何が出来るでしょうか？

清水・まちの魅力や景色など見て回り、自ら収穫した農産物を学校跡地を利用して調理、加工などを行うツアーを実施するなど、定期的な循環で交流人口の増加・定着を図りたいですね。

松原・湯地の丘など、景色の綺麗な場所も以外とありますよね。 富澤・定住化には家賃など生活に密着した問題解決が必要ですよ。

松原・移住者にとってマイナスイメージもありますが、この地域に魅力を感じて住んでいる人も大勢いらつしやるのも事実です。例えば、豊富な農作物の取れる時期を見やすく一覧にするとか、そのような事で人もは来るのではないのでしょうか？

恒例となりました「くりやまマルシェ」等でも、PRさせて頂けると思いますが、

清水・確かに今まで多品目というところを一つのPRポイントにはしてあげたいですね。

具体的にはまだ見えてないですが、きっと素晴らしいことが出来ると思います。

松原・今後とも定期的に情報交換をしてこの地域に貢献して参りましょう！

本日はお集まり頂きました！ありがとうございます！

※今後とも私たち青年団体は故郷のため行動します！



2015年度スローガン

# 雪中松柏

～目々新たに行動する青年であれ！～

第47代理事長 松原輝和



謹賀新年

日頃より栗山青年会議所の運動・事業に対して多大なるご協力とご理解賜りますことを厚く感謝・御礼申し上げます。

私は2015年度、一般社団法人栗山青年会議所理事長の職をお預かりします松原輝和と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。まずは昨年、当青年会議所が創立45周年を迎え、各種記念事業、式典等で地域の皆様より多大なるご支援と温かいご協力の元、無事に各種事業を執り行えましてことに改めて感謝・御礼申し上げます。 私たちは未来に向かい、掲げる理想を実現するべく、今後も邁進させて頂く所存でございます。さて、近年、この地域も人口減少、そして少子高齢化など、多くの課題を抱えていることは皆様もご承知のことと存じますが、私たち青年会議所としても、喫緊に取り組むべき課題であると認識しております。この地域の持つ可能性、それは母なる川、夕張川を背景にした、世界的にみても豊かな自然環境を基に育つ食の恵み、そしてそこに住まう人々そのものではないでしょうか。地理的にも札幌から近く、道内各地へのアクセスも良好で、便利な地域です。私たち青年が英知と勇氣と情熱を持って、この地域の底力である恵まれた自然環境、そして豊かな食の持つ価値、地の利と多くの人々の持つ英知を活かし、結びつけることで、必ずや住まう人々にとって誇り溢れる、輝かしい故郷を実現したい。そんな想いを具現化するために、私たちは行動します。

本年度スローガンを、「雪中松柏く日々新たに行動する青年であれ！」とさせて頂きました。雪中松柏とは、松や柏は厳冬の雪の中でも葉の色を変えず、冬を耐えることから、心に立てた志を堅く守ることの例えです。私たち栗山青年会議所メンバーも、「明るい豊かな社会の実現」という大志を抱き、その実現へ向けて、青年らしく、日々新たに行動することで、この地域の未来が輝き、全ての人々の幸せに繋がるべく行動します。本年もメンバー一同よろしくお願ひ致します。

# 責任世代 The 対談



栗1町4Hクラブ 第54代会長 富澤 政範  
JAそらち南青年部 第6代 部長 清水 哲矢  
栗1青年会議所 第47代理事長 松原 輝和

この地域の未来を担う私たち青年は今何を考え、何をすべきなのか？ 青年団体の枠を超えてのトークセッション！

松原・本日の内容をまとめると、やはり各団体とも単独での活動やPRでは、知ってもらえる範囲が狭いという事が分かりました。是非ともみんなで地域ブランドを創出したいですね。

清水・この3団体が栗山町にあることでこのまちや地域がより強くなるしまちづくりに貢献できると思います。

松原・最後に、今後私たちが、どのようなことに取り組めば良いとお考えでしょうか？

富澤・各団体とも考えていることは変わらないとわかりました。具体的にはまだ見えてないですが、きっと素晴らしいことが出来ると思います。

松原・今後とも定期的に情報交換をしてこの地域に貢献して参りましょう！

# 閉塞感

松原・各団体や機関では独自にプロモーションを行っているのですが、まちが一丸となつての売り込みが必要ですよ。私たちが栗山JICもそのように考えて、

私たちが栗山JICもそのように考えて、